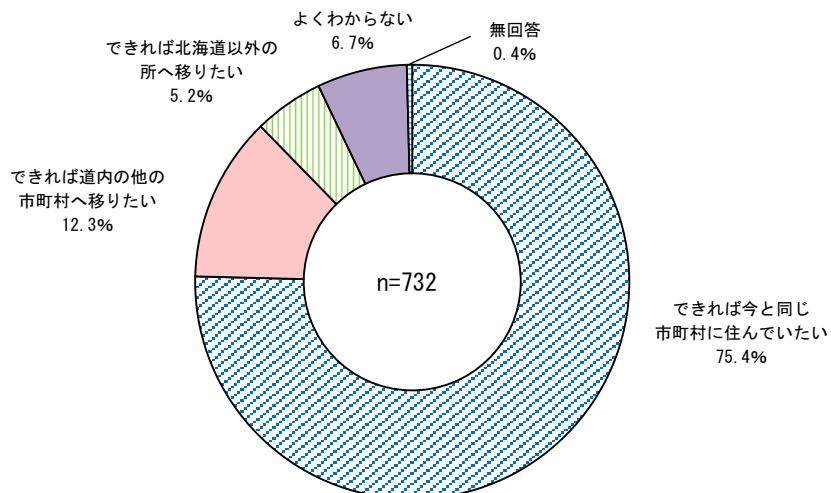


2 安心して暮らし続けることのできる地域づくりについて

問 10 あなたは、現在住んでいる市町村にこれからも住みたいと思いますか。

次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」(75.4%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「できれば道内の他の市町村へ移りたい」(12.3%)、「よくわからない」(6.7%)の順となっている。

【圏域別】

「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」については、十勝連携地域(84.2%)が最も割合が高く、次いで道央広域連携地域(78.5%)となっている。「できれば道内の他の市町村へ移りたい」については、オホーツク連携地域(22.9%)が最も割合が高く、次いで道南連携地域(20.0%)となっている。

【人口規模別】

「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」については、札幌市(85.7%)が最も割合が高く、次いで人口10万人以上の市(74.9%)となっている。「できれば道内の他の市町村へ移りたい」については、人口10万人未満の市(23.3%)が最も割合が高く、次いで町村部(20.6%)となっている。

【性別】

「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」については、男性79.6%、女性71.9%となっており、「できれば道内の他の市町村へ移りたい」については、男性9.1%、女性14.9%となっている。

【年代別】

「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」については、70歳以上(85.5%)が最も割合が高く、次いで60～69歳(81.5%)となっている。「できれば道内の他の市町村へ移りたい」については、18～29歳(22.2%)が最も割合が高く、次いで30～39歳(12.4%)となっている。

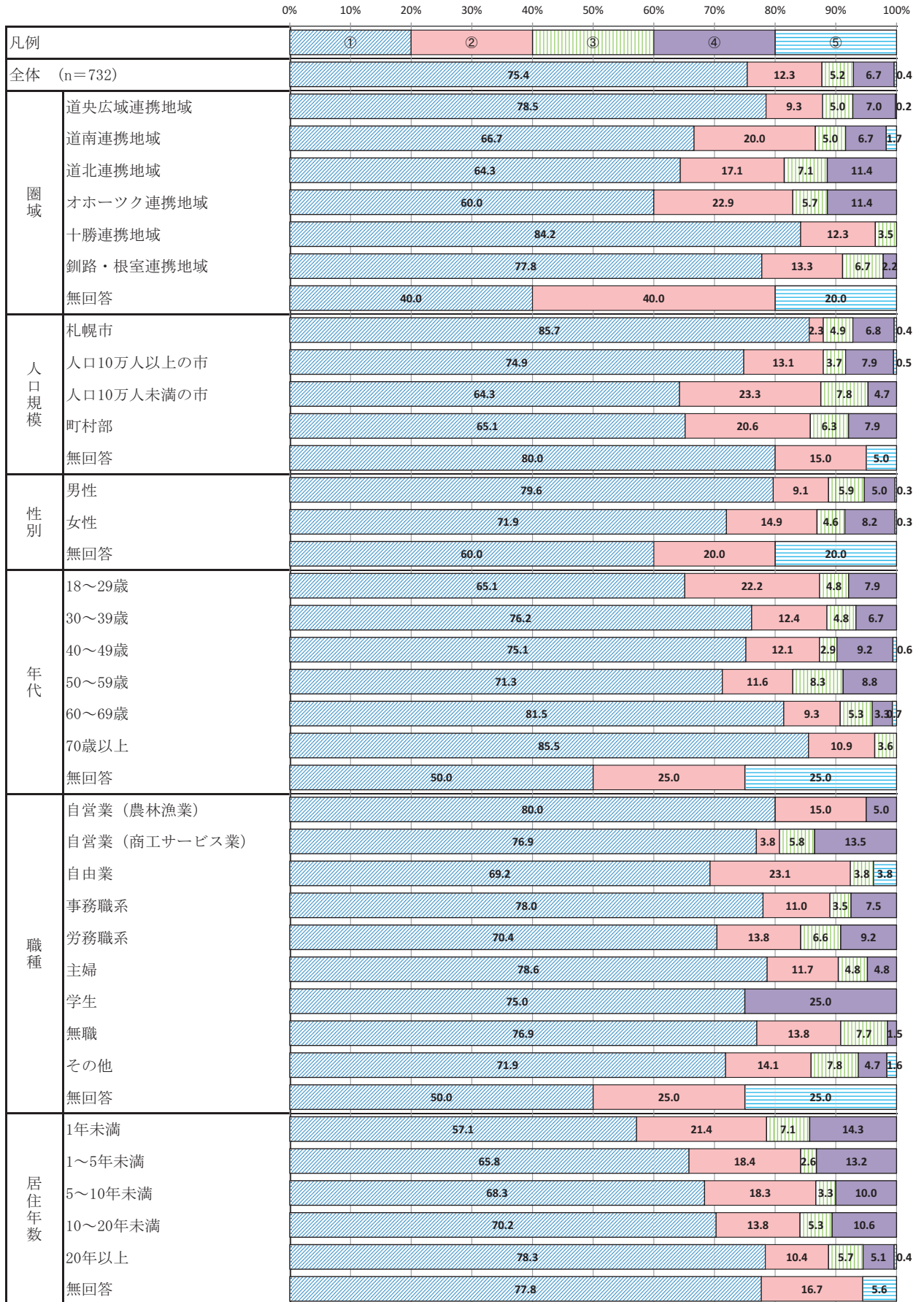
【職種別】

「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」については、自営業(農林漁業)(80.0%)が最も割合が高く、次いで主婦(78.6%)となっている。「できれば道内の他の市町村へ移りたい」については、自由業(23.1%)が最も割合が高く、次いで自営業(農林漁業)(15.0%)となっている。

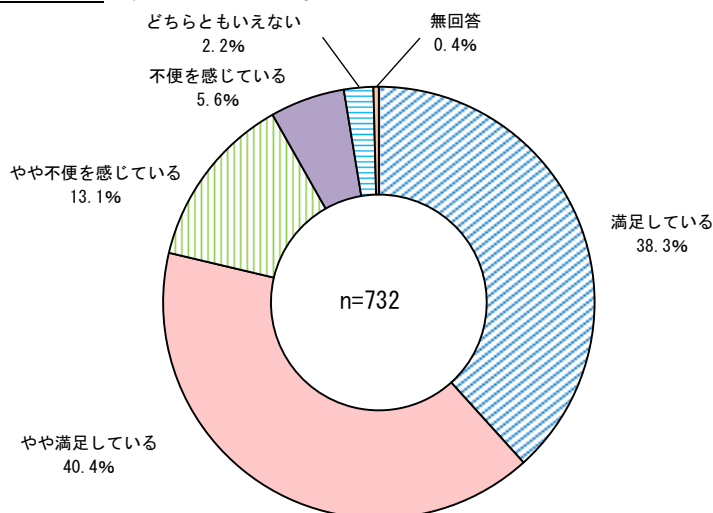
【居住年数別】

「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」については、20年以上(78.3%)が最も割合が高く、次いで10～20年未満(70.2%)となっている。「できれば道内の他の市町村へ移りたい」については、1年未満(21.4%)が最も割合が高く、次いで5～10年未満(18.4%)となっている。

①できれば今と同じ市町村に住んでいたい ②できれば道内の他の市町村へ移りたい
 ③できれば北海道以外の所へ移りたい ④よくわからない ⑤無回答



問11 あなたは、食料品などの日々の買い物に満足を感じていますか。
次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「やや満足している」(40.4%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「満足している」(38.3%)、「やや不便を感じている」(13.1%)の順となっている。

【圏域別】

「やや満足している」については、オホーツク連携地域(60.0%)が最も割合が高く、次いで道北連携地域(51.4%)となっている。「満足している」については、道央広域連携地域(42.2%)が最も割合が高く、次いで十勝連携地域(40.4%)となっている。

【人口規模別】

「やや満足している」については、人口10万人以上の市(45.0%)が最も割合が高く、次いで町村部(41.3%)となっている。「満足している」については、札幌市(48.9%)が最も割合が高く、次いで人口10万人以上の市(37.7%)となっている。

【性別】

「やや満足している」については、男性40.7%、女性40.5%となっており、「満足している」については、男性40.1%、女性36.9%となっている。

【年代別】

「やや満足している」については、70歳以上(56.4%)が最も割合が高く、次いで50～59歳(45.9%)となっている。「満足している」については、60～69歳(43.0%)が最も割合が高く、次いで40～49歳(41.6%)となっている。

【職種別】

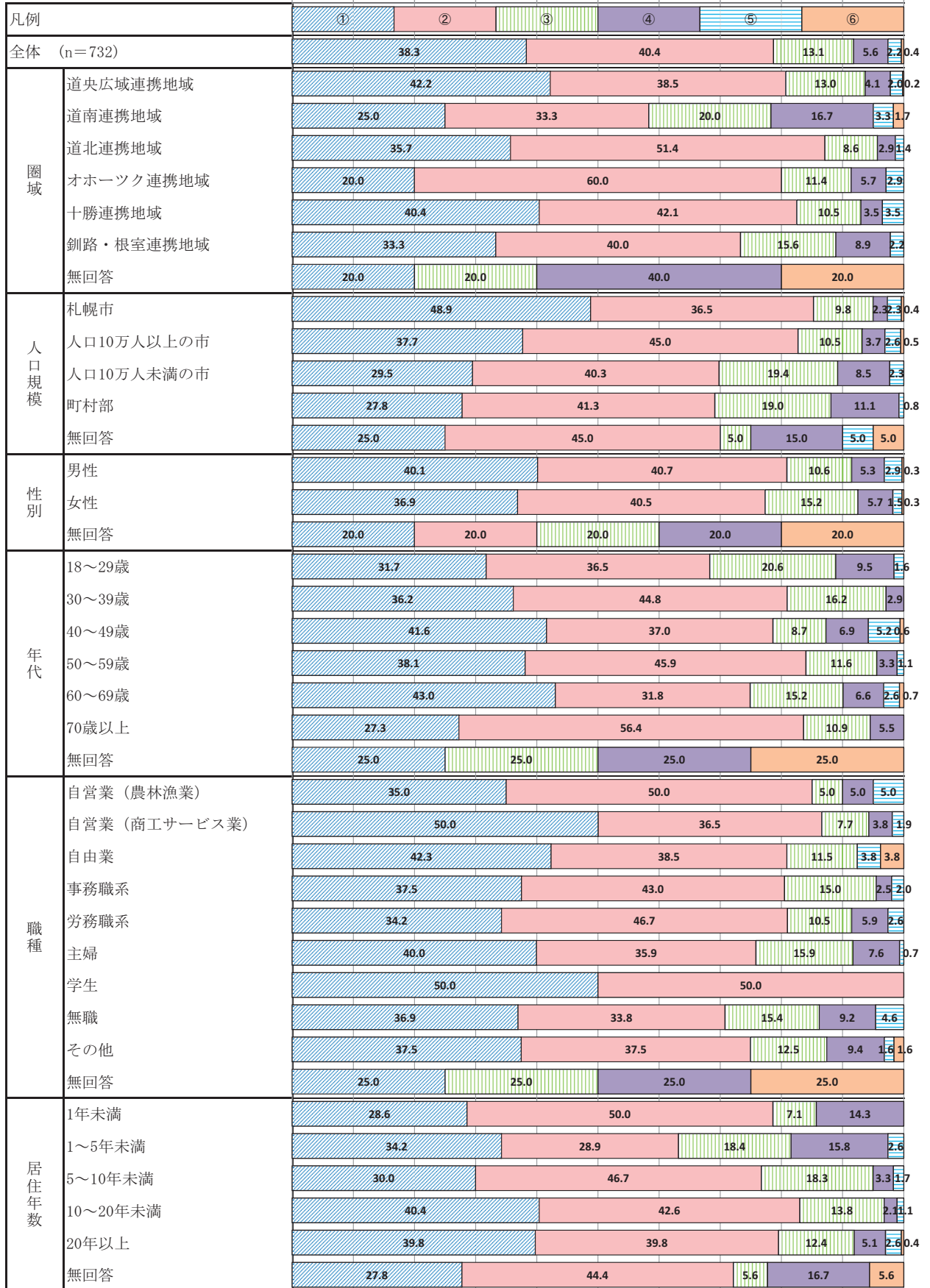
「やや満足している」については、自営業(農林漁業)(50.0%)が最も割合が高く、次いで労務職系(46.7%)となっている。「満足している」については、自営業(商工サービス)(50.0%)が最も割合が高く、次いで自由業(42.3%)となっている。

【居住年数別】

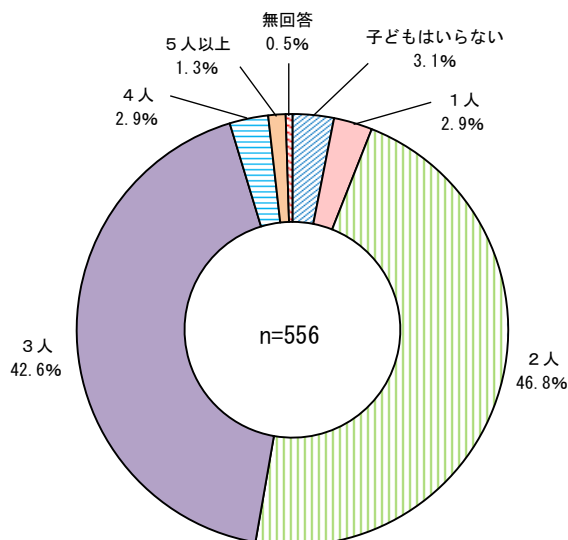
「やや満足している」については、1年未満(50.0%)が最も割合が高く、次いで5～10年未満(46.7%)となっている。「満足している」については、10～20年未満(40.4%)が最も割合が高く、次いで20年以上(39.8%)となっている。

①満足している ②やや満足している ③やや不便を感じている
 ④不便を感じている ⑤どちらともいえない ⑥無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問 12 ※結婚されている方のみお答えください。
 あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。次の中から 1つだけ お選びください。



【全体】

「2人」(46.8%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「3人」(42.6%)、「子どもはいらない」(3.1%)の順となっている。

【圏域別】

「2人」については、道央広域連携地域 (50.7%) が最も割合が高く、次いで十勝連携地域 (44.2%) となっている。「3人」については、釧路・根室連携地域 (56.4%) が最も割合が高く、次いで道南連携地域 (54.5%) となっている。

【人口規模別】

「2人」については、札幌市 (51.2%) が最も割合が高く、次いで人口 10 万人未満の市 (45.8%) となっている。「3人」については、人口 10 万人以上の市 (45.9%) が最も割合が高く、次いで町村部 (45.3%) となっている。

【性別】

「2人」については、男性 48.9%、女性 44.9%となっており、「3人」については、男性 41.1%、女性 43.9%となっている。

【年代別】

「2人」については、18～29歳 (59.3%) が最も割合が高く、次いで50～59歳 (51.4%) となっている。「3人」については、70歳以上 (54.9%) が最も割合が高く、次いで60～69歳 (47.2%) となっている。

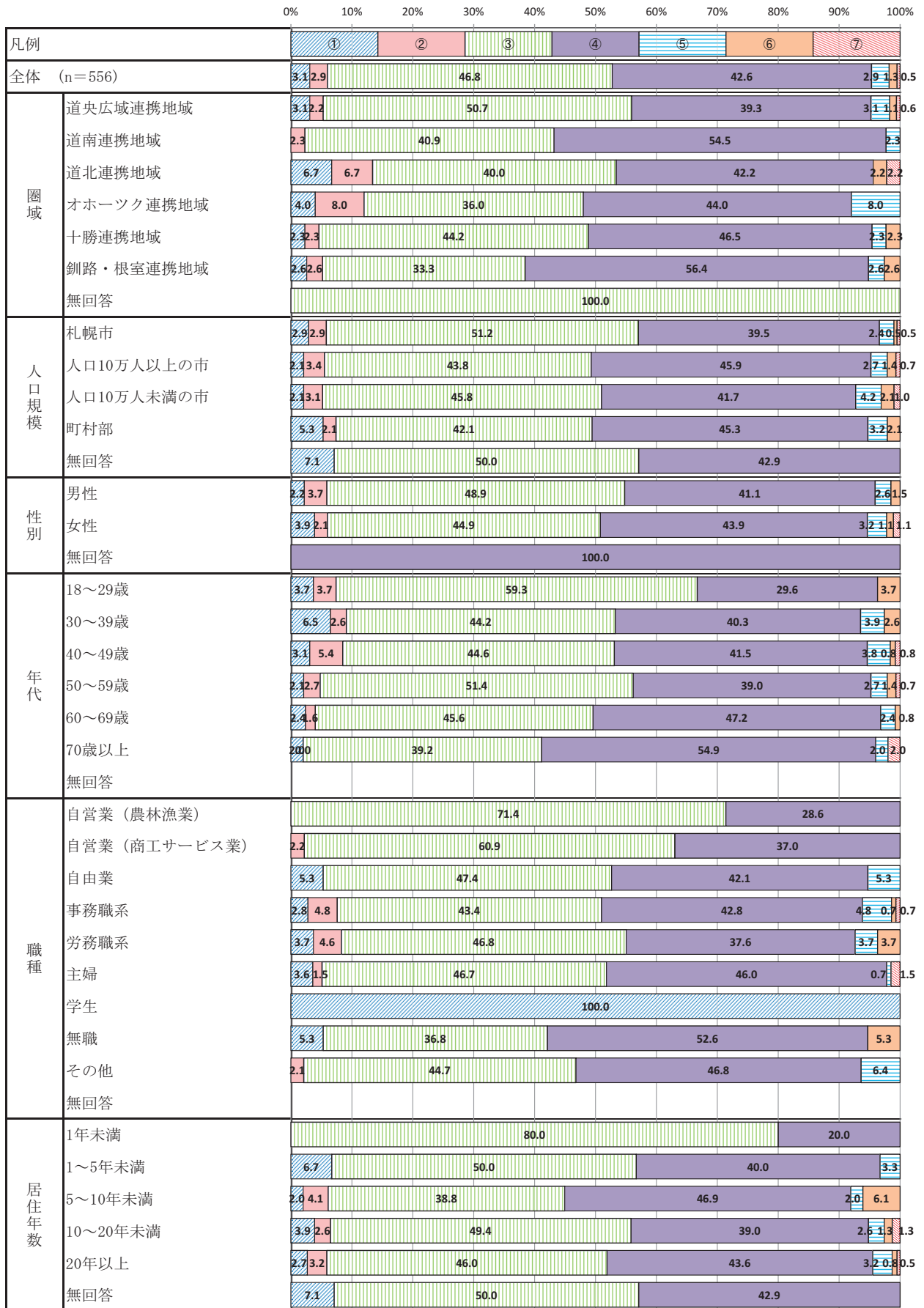
【職種別】

「2人」については、自営業 (農林漁業) (71.4%) が最も割合が高く、次いで自営業 (商工サービス) (60.9%) となっている。「3人」については、無職 (52.6%) が最も割合が高く、次いでその他 (46.8%) となっている。

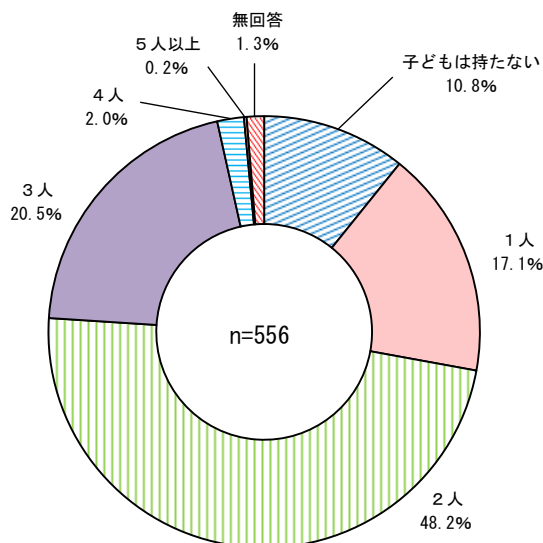
【居住年数別】

「2人」については、1年未満 (80.0%) が最も割合が高く、次いで1～5年未満 (50.0%) となっている。「3人」については、5～10年未満 (46.9%) が最も割合が高く、次いで20年以上 (43.6%) となっている。

①子どもはいらない ②1人 ③2人 ④3人 ⑤4人 ⑥5人以上
⑦無回答



問 13 ※結婚されている方のみお答えください。
あなたは、何人のお子さんを持つおつもりですか。次の中から 1つだけ お選びください。



【全体】

「2人」(48.2%) と答えた方の割合が最も高く、次いで「3人」(20.5%)、「1人」(17.1%) の順となっている。

【圏域別】

「2人」については、道南連携地域 (54.5%) が最も割合が高く、次いで道央広域連携地域 (50.1%) となっている。「3人」については、釧路・根室連携地域 (28.2%) が最も割合が高く、次いで十勝連携地域 (23.3%) となっている。

【人口規模別】

「2人」については、札幌市 (49.3%) が最も割合が高く、次いで人口 10 万人以上の市 (48.6%) となっている。「3人」については、町村部 (24.2%) が最も割合が高く、次いで人口 10 万人未満の市 (22.9%) となっている。

【性別】

「2人」については、男性 47.0%、女性 49.5% となっており、「3人」については、男性 20.7%、女性 20.4% となっている。

【年代別】

「2人」については、18～29 歳 (55.6%) が最も割合が高く、次いで 30～39 歳 (50.6%) となっている。「3人」については、70 歳以上 (31.4%) が最も割合が高く、次いで 60～69 歳 (27.2%) となっている。

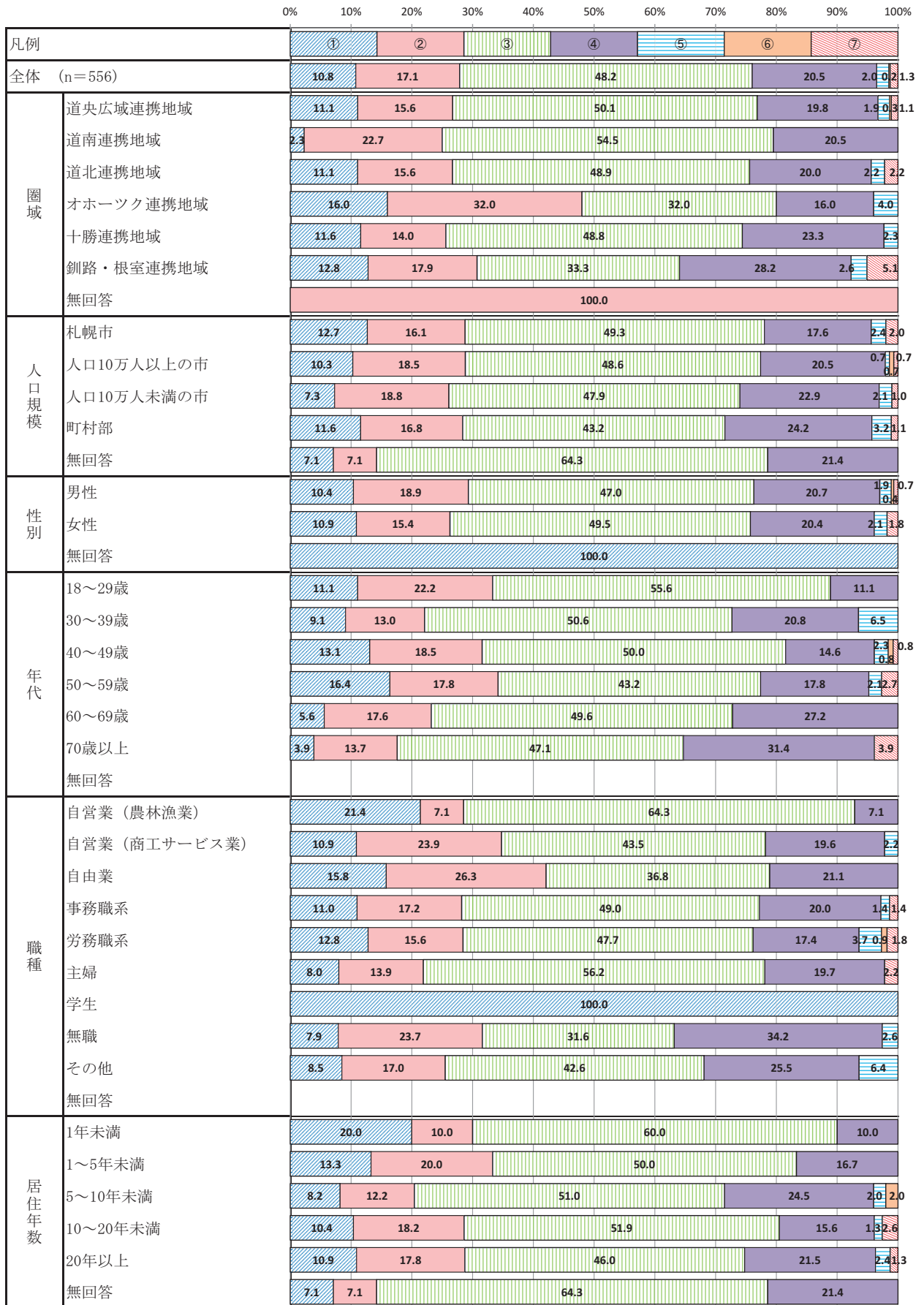
【職種別】

「2人」については、自営業 (農林漁業) (64.3%) が最も割合が高く、次いで主婦 (56.2%) となっている。「3人」については、無職 (34.2%) が最も割合が高く、次いでその他 (25.5%) となっている。

【居住年数別】

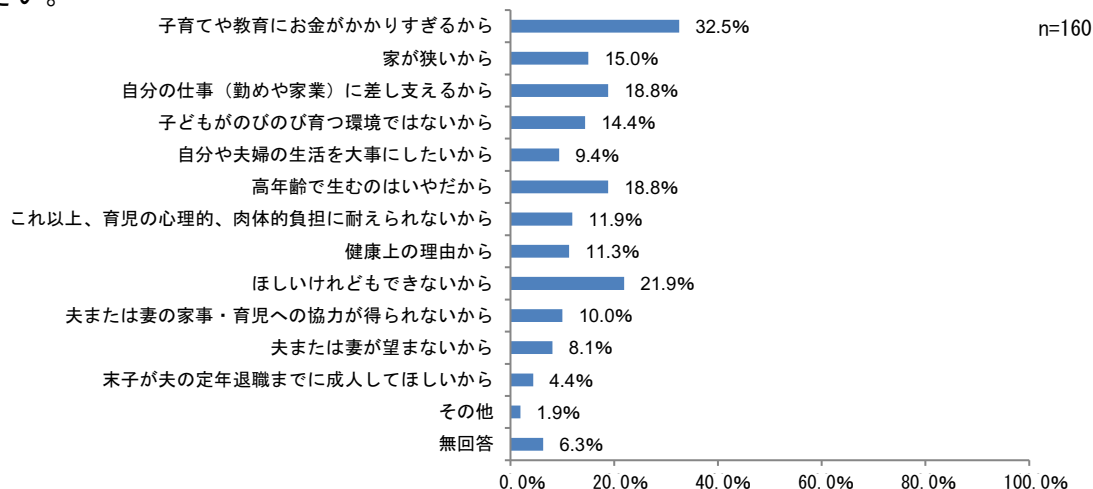
「2人」については、1 年未満 (60.0%) が最も割合が高く、次いで 10～20 年未満 (51.9%) となっている。「3人」については、5～10 年未満 (24.5%) が最も割合が高く、次いで 20 年以上 (21.5%) となっている。

①子どもは持たない ②1人 ③2人 ④3人 ⑤4人 ⑥5人以上
⑦無回答



問 14 ※結婚されている方のみお答えください。

問 13 で選んだ「実際に持つつもりの子どもの数」が、問 12 で選んだ「理想とする子どもの数」に比べて少ない方に伺います。その理由は何ですか。次の中から、いくつでもお選びください。



【全体】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」（32.5%）と答えた方の割合が最も高く、次いで「ほしいけれどもできないから」（21.9%）、「自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから」と「高年齢で生むのはいやだから」が同率（18.8%）の順となっている。

【圏域別】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」については、十勝連携地域（42.9%）が最も割合が高く、次いでオホーツク連携地域（41.7%）となっている。「ほしいけれどもできないから」については、十勝連携地域（28.6%）が最も割合が高く、次いで釧路・根室連携地域（27.3%）となっている。

【人口規模別】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」については、町村部（39.1%）が最も割合が高く、次いで人口 10 万人未満の市（36.7%）となっている。「ほしいけれどもできないから」については、町村部（34.8%）が最も割合が高く、次いで札幌市（24.2%）となっている。

【性別】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」については、男性 37.8%、女性 28.2%となっており、「ほしいけれどもできないから」については、男性 23.0%、女性 20.0%となっている。

【年代別】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」については、40～49 歳（42.6%）が最も割合が高く、次いで 30～39 歳（40.0%）となっている。「ほしいけれどもできないから」については、18～29 歳（33.3%）が最も割合が高く、次いで 50～59 歳（26.7%）となっている。

【職種別】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」については、自営業（農林漁業）（66.7%）が最も割合が高く、次いでその他（41.7%）となっている。「ほしいけれどもできないから」については、自営業（商工サービス）（53.8%）が最も割合が高く、次いで自由業（50.0%）となっている。

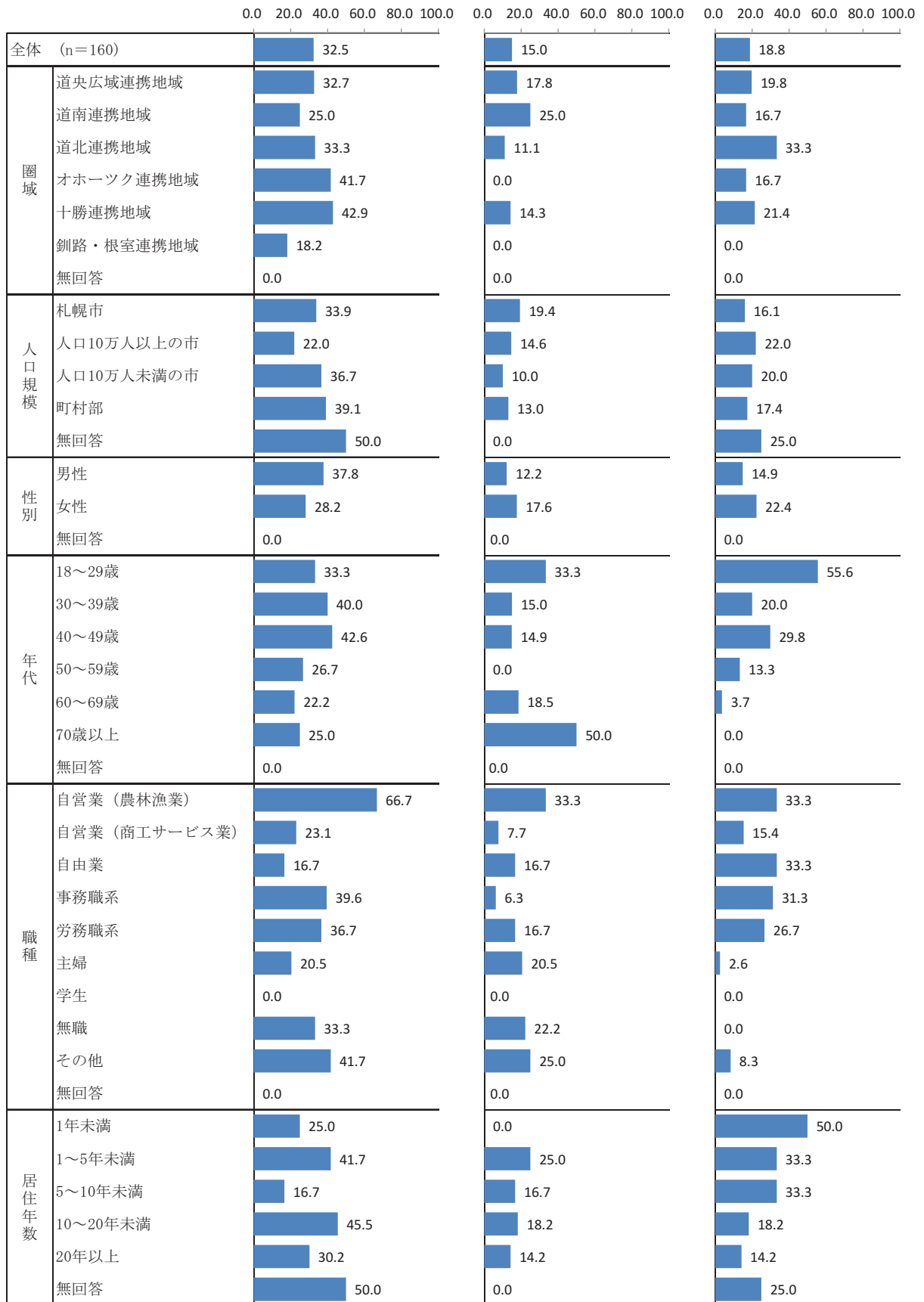
【居住年数別】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」については、10～20 年未満（45.5%）が最も割合が高く、次いで 1～5 年未満（41.7%）となっている。「ほしいけれどもできないから」については、1 年未満（50.0%）が最も割合が高く、次いで 10～20 年未満（27.3%）となっている。

子育てや教育にお金がかかりすぎるから

家が狭いから

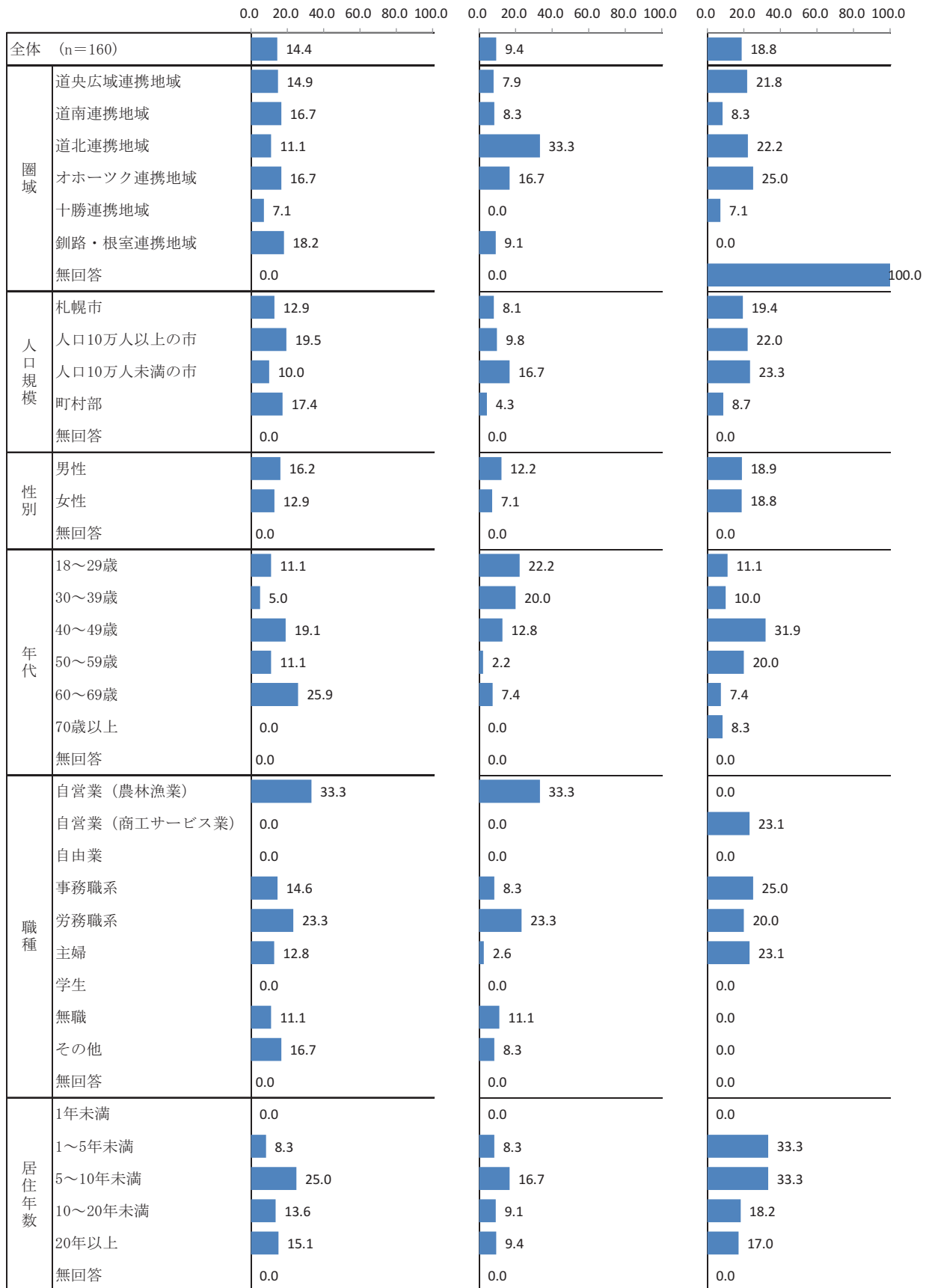
自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから



子どもがのびのび育つ環境ではないから

自分や夫婦の生活を大事にした
いから

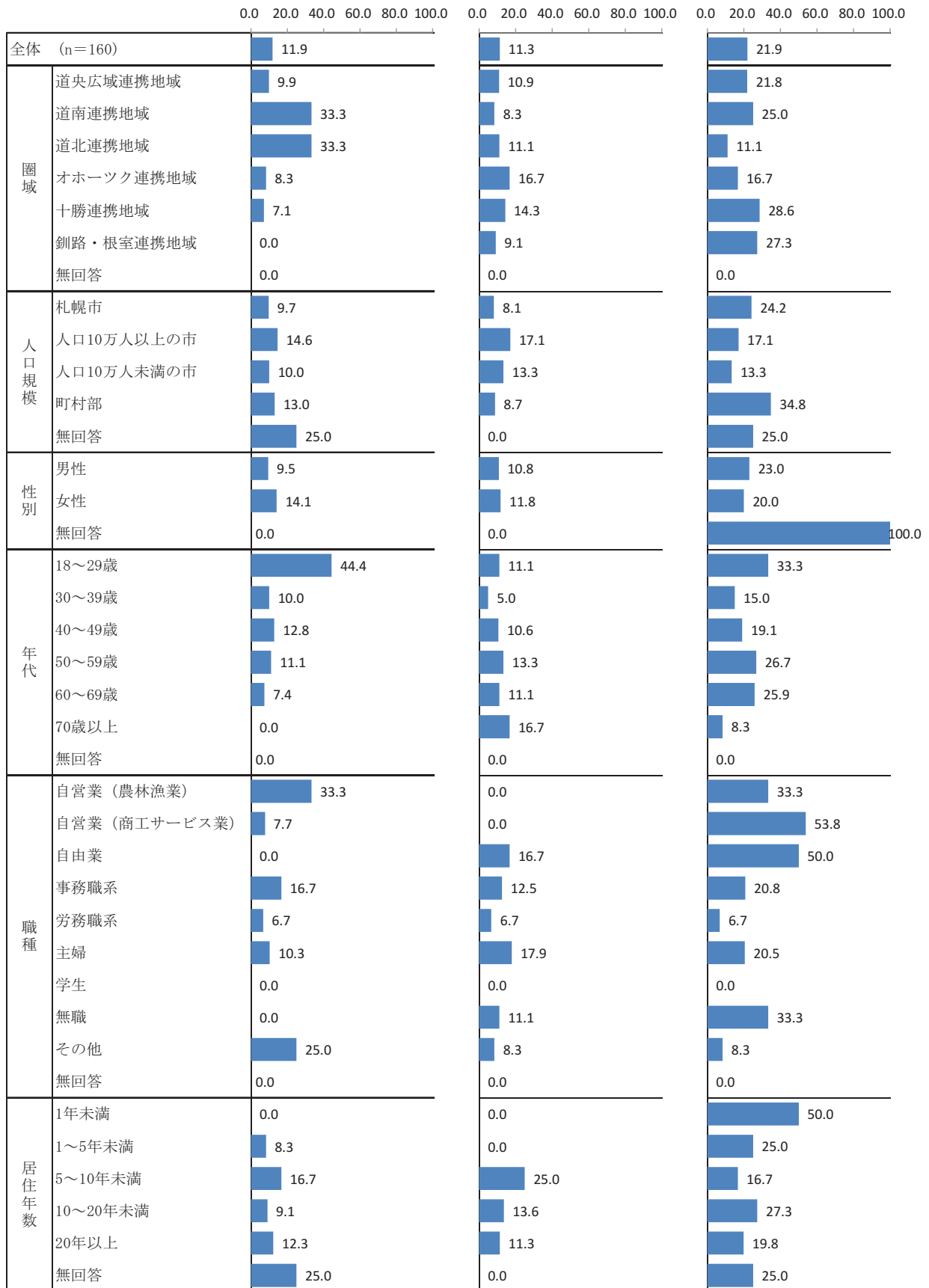
高年齢で生むのはいやだから



これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから

健康上の理由から

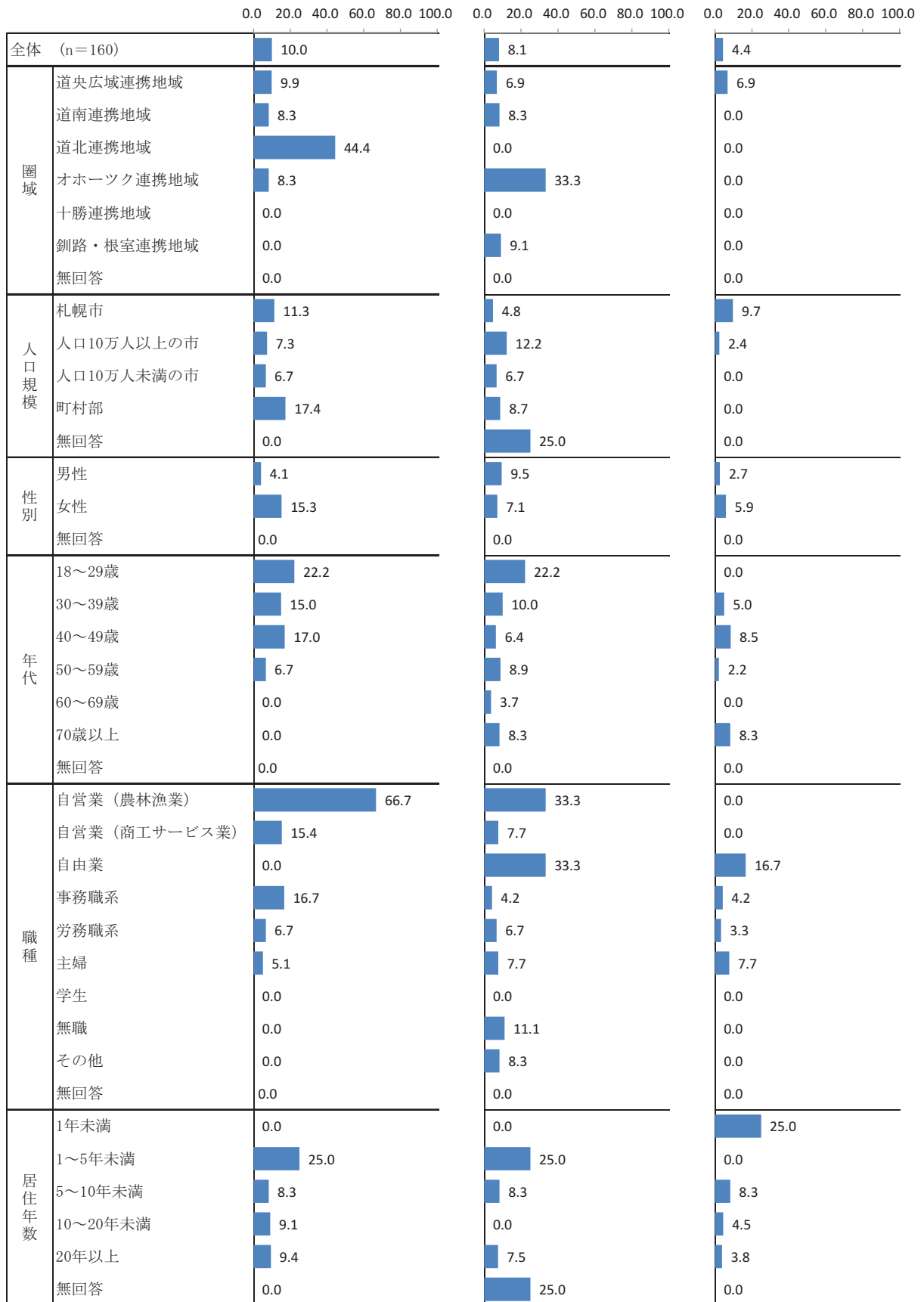
ほしいけれどもできないから



夫または妻の家事・育児への協力が得られないから

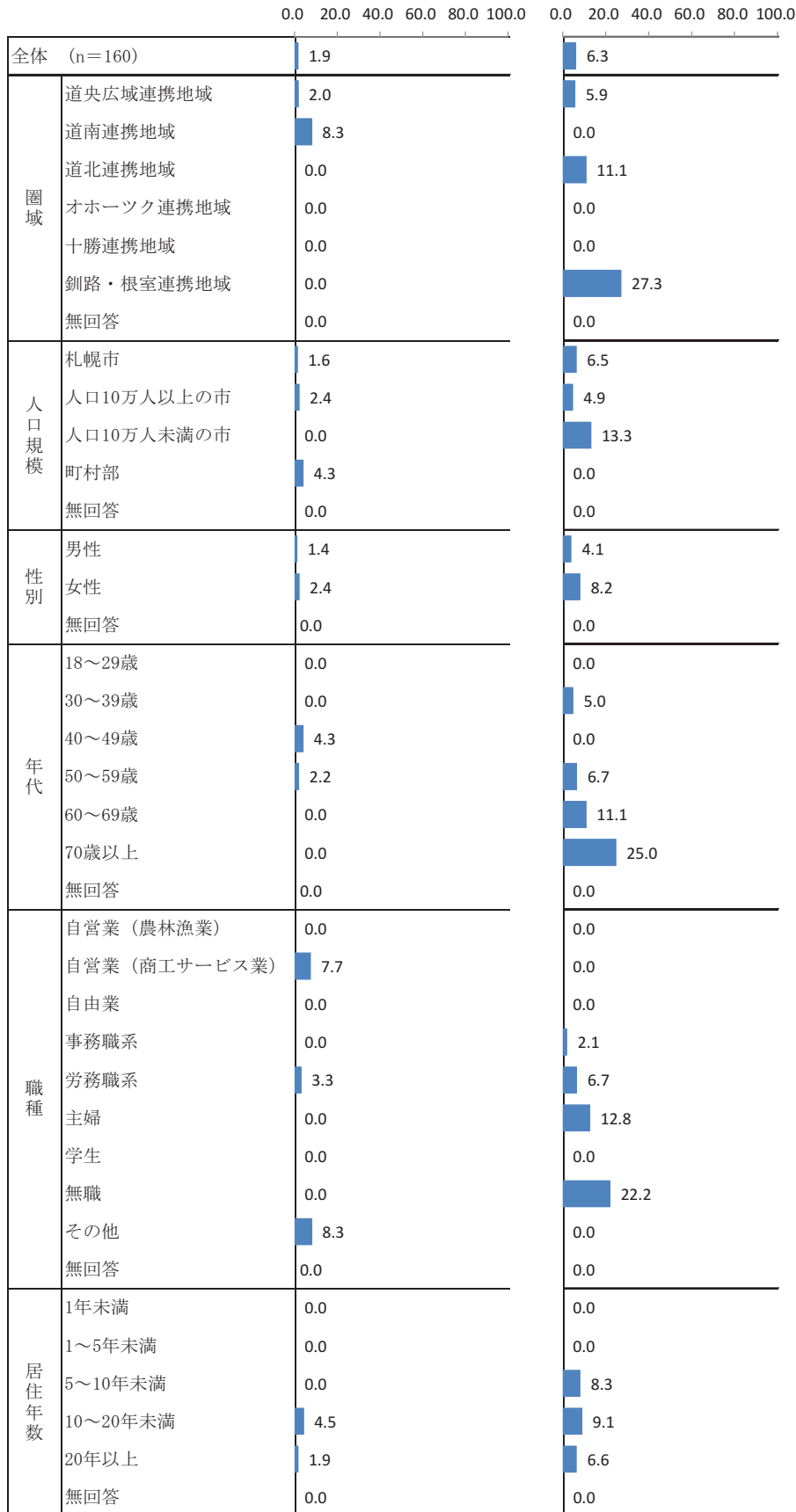
夫または妻が望まないから

末子が夫の定年退職までに成人してほしいから



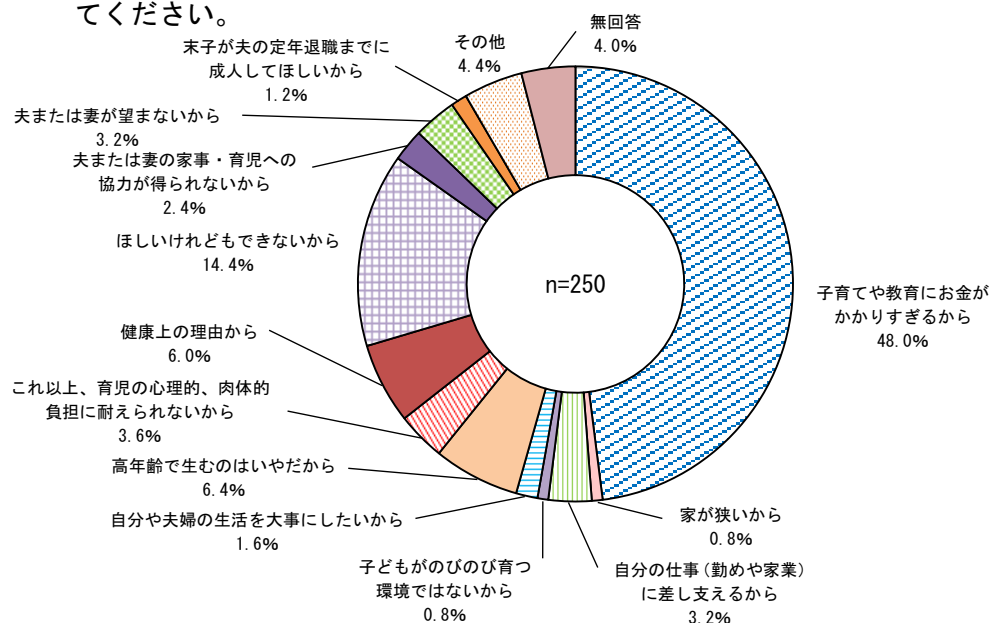
その他

無回答



問 14-① ※結婚されている方のみお答えください。

問 13 で選んだ「実際に持つつもりの子どもの数」が、問 12 で選んだ「理想とする子どもの数」に比べて少ない方に伺います。その中で最も重要な理由を1つだけ選び◎を付けてください。



【全体】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(48.0%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「ほしいけれどもできないから」(14.4%)、「高年齢で生むのはいやだから」(6.4%)の順となっている。

【圏域別】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」については、道南連携地域(56.5%)が最も割合が高く、次いで道央広域連携地域(49.7%)となっている。「ほしいけれどもできないから」については、オホーツク連携地域(20.0%)が最も割合が高く、次いで道北連携地域(18.8%)となっている。

【人口規模別】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」については、人口10万人以上の市(50.7%)が最も割合が高く、次いで札幌市(48.4%)となっている。「ほしいけれどもできないから」については、町村部(21.6%)が最も割合が高く、次いで札幌市(16.8%)となっている。

【性別】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」については、男性49.6%、女性46.8%となっており、「ほしいけれどもできないから」については、男性13.8%、女性15.1%となっている。

【年代別】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」については、18~29歳(71.4%)が最も割合が高く、次いで30~39歳(65.5%)となっている。「ほしいけれどもできないから」については、40~49歳(20.6%)が最も割合が高く、次いで50~59歳(16.9%)となっている。

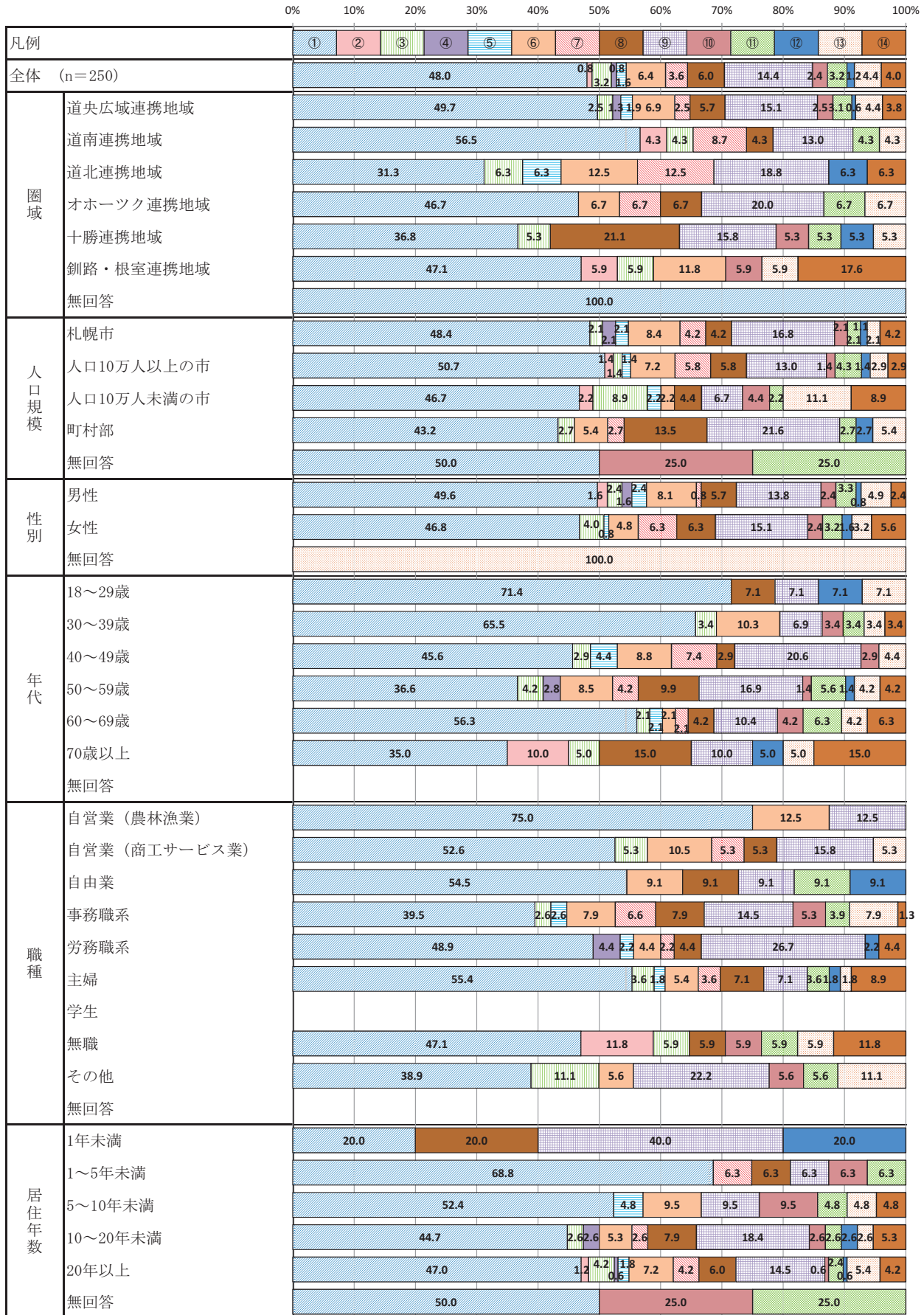
【職種別】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」については、自営業(農林漁業)(75.0%)が最も割合が高く、次いで主婦(55.4%)となっている。「ほしいけれどもできないから」については、労務職系(26.7%)が最も割合が高く、次いでその他(22.2%)となっている。

【居住年数別】

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」については、1~5年未満(68.8%)が最も割合が高く、次いで5~10年未満(52.4%)となっている。「ほしいけれどもできないから」については、1年未満(40.0%)が最も割合が高く、次いで10~20年未満(18.4%)となっている。

①子育てや教育にお金がかかりすぎるから ②家が狭いから ③自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから
 ④子どもがのびのび育つ環境ではないから ⑤自分や夫婦の生活を大事にしたいから ⑥高齢で生むのはいやだから
 ⑦これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから ⑧健康上の理由から ⑨ほしいけれどもできないから
 ⑩夫または妻の家事・育児への協力が得られないから ⑪末子が夫の定年退職までに成人してほしいから ⑫その他 ⑬無回答



■「安心して暮らし続けることのできる地域づくり」の調査を終えて

居住市町村に関する意識について、7割以上の方が「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」(75.4%)と回答されており、調査を開始した平成27年度から5年連続で7割を超えた。食料品などの日々の買い物の満足度に関しても、「満足している」(38.3%)または「やや満足している」(40.4%)と回答された方が7割以上であった。

また、出産・子育てに関する意識について、実際に持つつもりの子どもの数が理想と比べて少ない理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」と回答された方が32.5%と最も多かったが、対前年比で26.7%の減であった。以下、「ほしいけれどもできないから」(21.9%)、「自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから」、「高齢で生むのはいやだから」(ともに18.8%)という回答が続いている。

今年度は現行北海道創生総合戦略(平成27年～令和元年)が推進期間の最終年を迎えたことから、現在、第2期戦略の策定に向けた作業を行っており、今回の調査結果も踏まえ、道内各市町村をはじめ産官学等の多様な関係者と連携しながら、誰もが住み慣れた地域で、将来にわたり心豊かに安心して暮らし続けることができる地域の実現に向け、引き続き北海道創生の取組を推進していく。

(総合政策部地域創生局地域戦略課)